

岩手県感染症週報

平成17年第1週（1月3日～1月9日）

岩手県結核・感染症情報センター

第1週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は、全国的にノロウイルスによる集団感染事例が問題となっていますが、今冬、本県のこれまでの患者発生状況はほぼ例年並みに推移しています。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1～2日の潜伏期間の後、吐き気、嘔吐、下痢が主な症状であり、腹痛、頭痛、発熱、悪寒、筋肉痛、咽頭痛を伴うこともあります。症状は一般に軽症であり治療を必要とせず軽快しますが、まれに重症化する例もあり、老人や免疫力が低下した乳児は注意が必要です。
- ・インフルエンザは県内各地で患者が散発していますが、本格的な流行シーズンにはまだ入っていないようです。
- ・流行性耳下腺炎は、依然として北上地区で患者が多い状態が続いています。
- ・水痘は各地で患者数が増加し、この週は過去5年間では最大の患者発生数となりました。この週に患者数が多い地区は、盛岡、北上、一関、釜石、二戸の5地区です。
- ・咽頭結膜熱は、釜石地区で昨年末から患者数が増加しており、この週には定点当たり患者数が6.0人と警報値（同患者数1.0人）を大きく超えています。

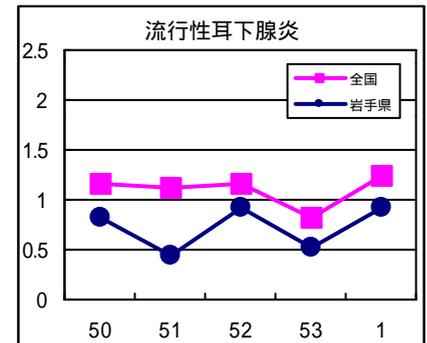
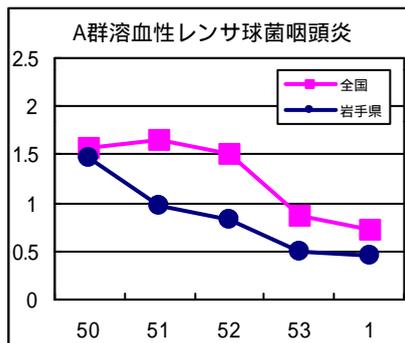
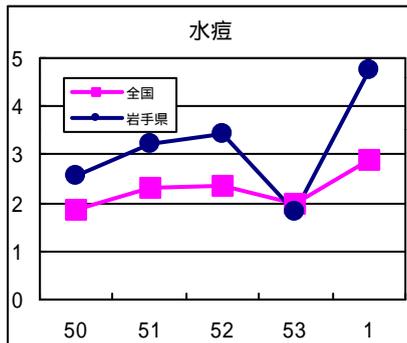
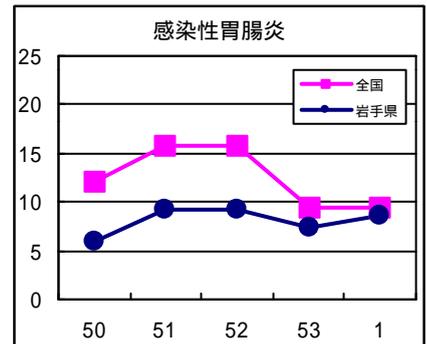
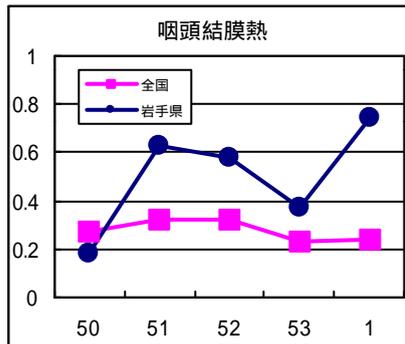
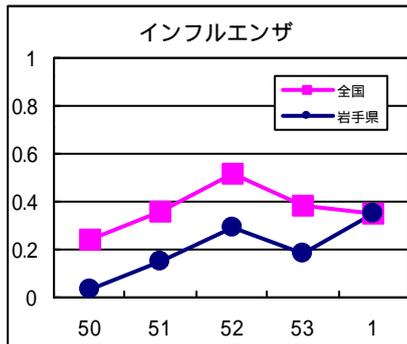
4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		50	51	52	53	1		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0.15	0.29	0.18	0.35	→	
	全国	0.24	0.36	0.52	0.38	0.35		
咽頭結膜熱	岩手県	0.18	0.63	0.58	0.37	0.74	↗	
	全国	0.27	0.32	0.32	0.23	0.24		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.47	0.97	0.82	0.5	0.45	↘	
	全国	1.58	1.65	1.5	0.87	0.72		
感染性胃腸炎	岩手県	6.03	9.13	9.26	7.45	8.55	↗	
	全国	12.14	15.74	15.83	9.37	9.41		
水痘	岩手県	2.55	3.24	3.42	1.82	4.74	↗	
	全国	1.84	2.33	2.34	2	2.9		
手足口病	岩手県	0.16	0.13	0.03	0.03	0.24	→	
	全国	0.67	0.65	0.5	0.26	0.18		
伝染性紅斑	岩手県	0.45	0.34	0.26	0.13	0.29	→	
	全国	0.18	0.23	0.22	0.14	0.18		
突発性発疹	岩手県	0.37	0.37	0.71	0.39	0.5	→	
	全国	0.65	0.67	0.62	0.43	0.52		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.13	0.21	0.29	0.29	0.11	↘	
	全国	0.06	0.06	0.05	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.82	0.45	0.92	0.53	0.92	→	
	全国	1.17	1.13	1.17	0.82	1.24		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.01	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.33	1.67	1.08	1.25	0.5	→	
	全国	0.67	0.7	0.71	0.41	0.7		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	2	2	0	0	0	→	
	全国	855			0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.35	0.25	0.3	0	0.1	→	
	全国	0.45	0.38	0.37	0.16	0.2		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		岩手県						全国	
分類	疾病名	(週)					累計	1	累計
		50	51	52	53	1			
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	2
	細菌性赤痢	0	1	0	0	0	0	4	4
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	0	3	3
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	1	1
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	1
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	1	0	0	0	0	2	2
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	1	1
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	1
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	4	4
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	2	2
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

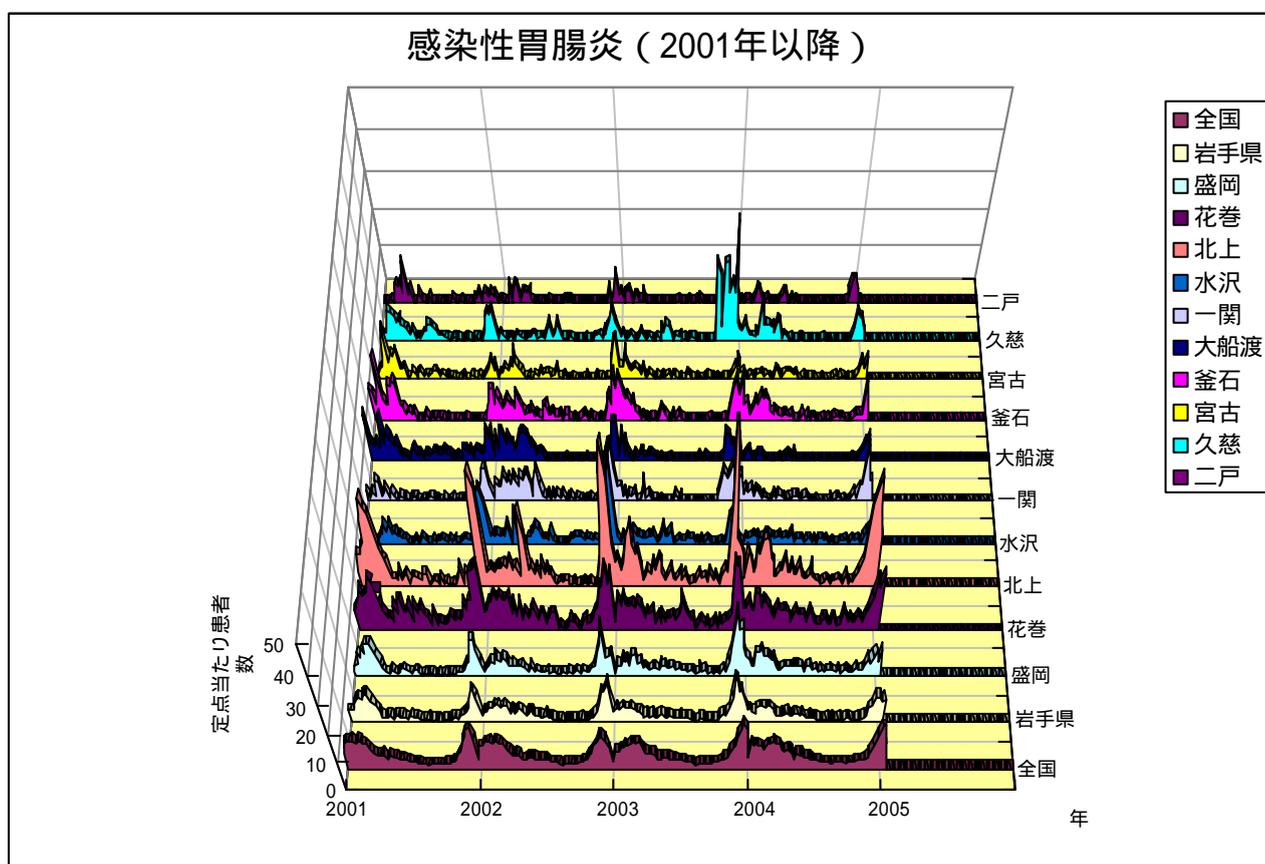
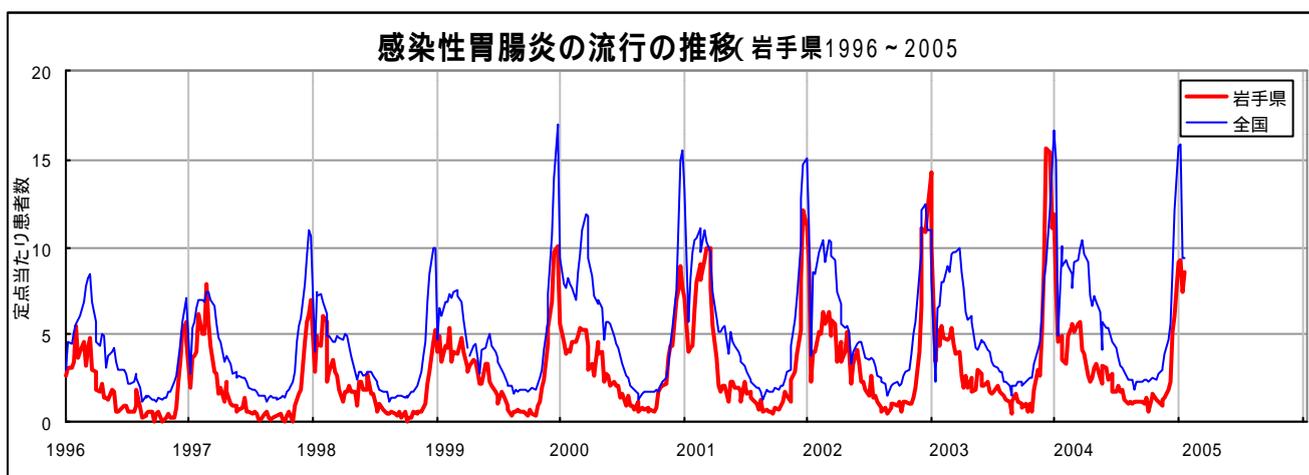
昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、全国的にノロウイルスによる集団感染事例が問題となっていますが、感染症発生動向調査によると、今冬の患者発生状況はほぼ例年並みとなっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、症状が消失した後もウイルスが3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、特に二次感染に注意が必要です。また、患者の吐物にも多量のウイルスが含まれているので、二次感染を防ぐため、汚物の処理時には100倍程度に薄めた塩素系漂白剤で消毒するなどの処置が必要であり、感染の防止にはなによりも十分な手洗いが大切です。



病原体検出情報

- ・咽頭結膜熱の患者の結膜拭い液からアデノウイルス37型を1例分離検出しました。
- ・扁桃腺炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス2型を1例分離検出しました。

集団感染情報

高齢者福祉施設における下痢、嘔吐等を主症状とする患者の集団発生について

1 発生状況等

1月11日（火）、水沢保健所管内の高齢者福祉施設（施設入所者50名、その他デイサービス等利用者、職員数36名）から、入所者で嘔吐・下痢を訴える者が複数名出ており、医療機関を受診した旨、水沢保健所に情報提供があった。保健所が調査したところ、1月2日から11日までに施設の入所者18名、デイサービス利用者1名及び職員1名の計20名（うち入院2名）に症状（嘔吐、下痢等）が認められた。有症者のうち15名はすでに軽快、入院患者を含む残り5名についても治療により症状は快復に向かっている。

2 原因究明等の調査

環境保健研究センターで実施した病原体検査の結果、患者の便からノロウイルスが検出されている。なお、保健所では同施設に対し、消毒、手洗いの徹底等の二次感染予防対策について指導した。

食中毒事件の発生について

1 発生状況等

1月11日（火）、患者グループから、1月8日に北上市内の飲食店で会食した職場の同僚数人が、嘔吐、下痢等の食中毒様症状を呈している旨、北上保健所に通報があった。保健所が調査したところ、1月8日の宴会料理を喫食した3団体26名が、1月9日より嘔吐、腹痛、下痢、発熱の症状を呈していた。患者の共通食品は当該飲食店が提供した食事のみであり、また、患者の症状も共通していることから食中毒事件と断定した。

2 原因究明等の調査

保健所及び環境保健研究センターで実施した病原体検査の結果、患者の便からノロウイルスが検出されている。なお、保健所では当該飲食店に対し、1月12日から14日までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止処分とした。

医療機関からの情報

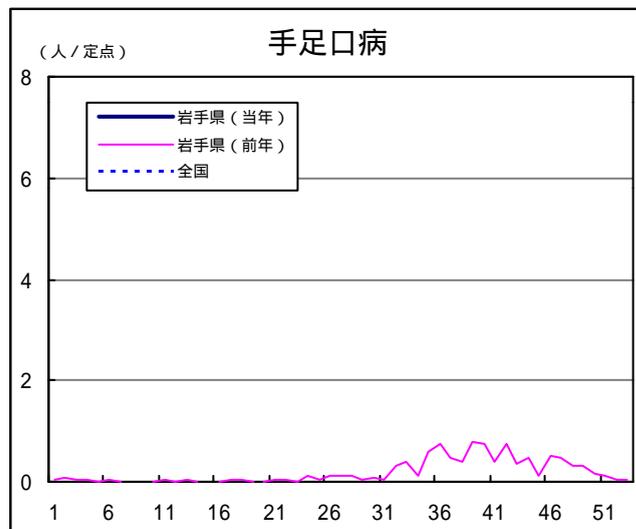
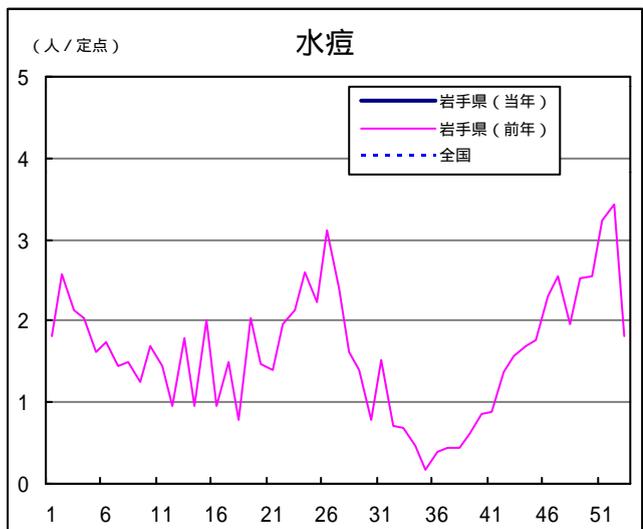
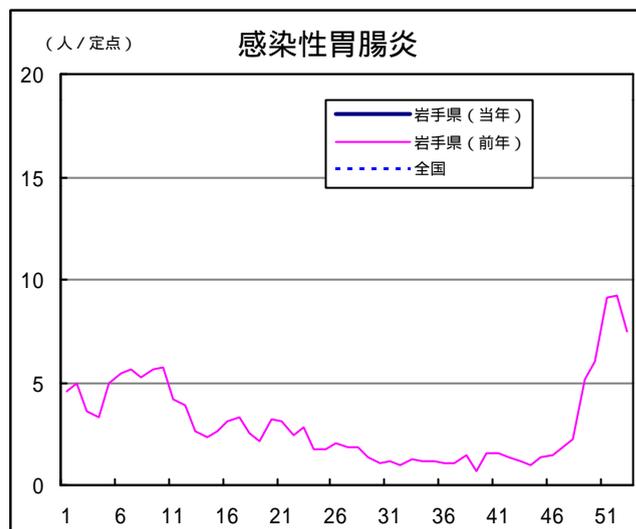
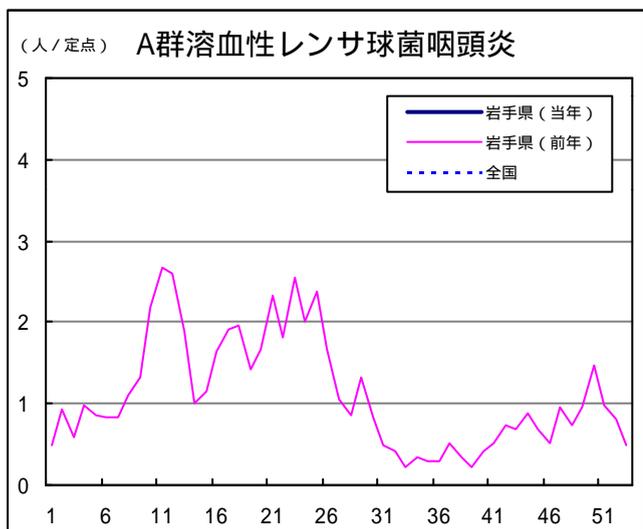
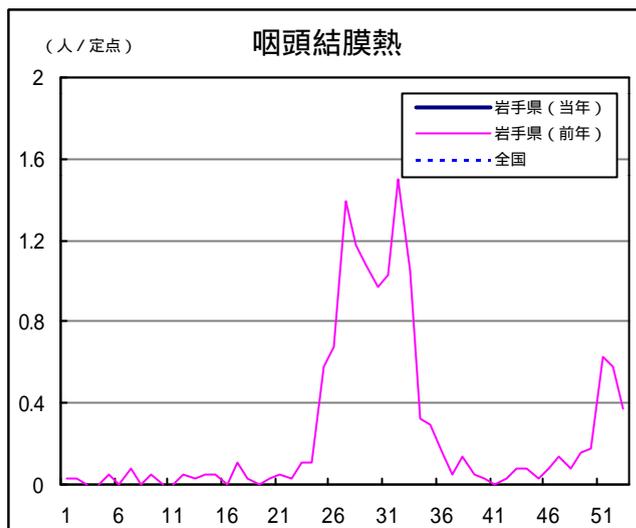
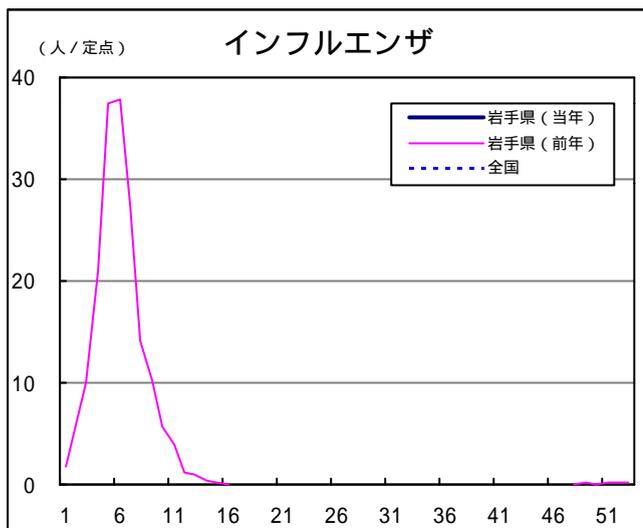
この週には医療機関からの情報はありません。

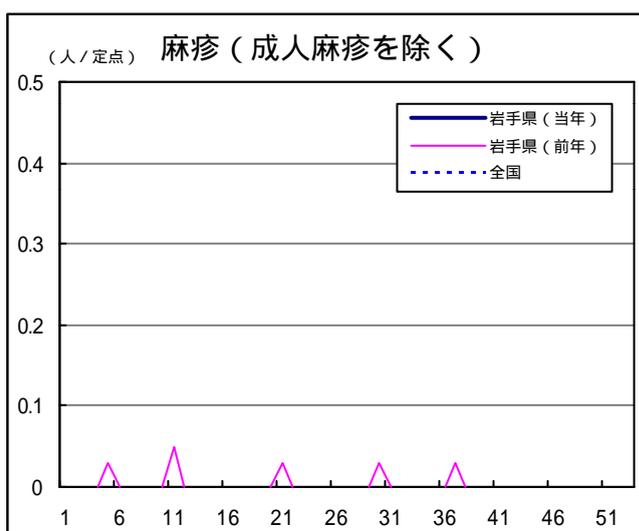
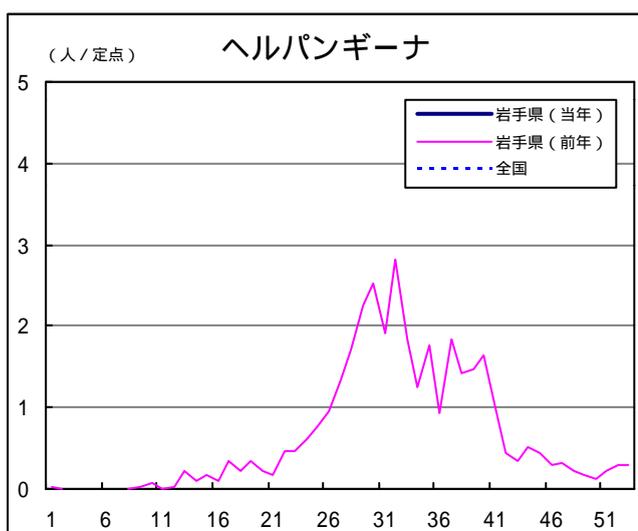
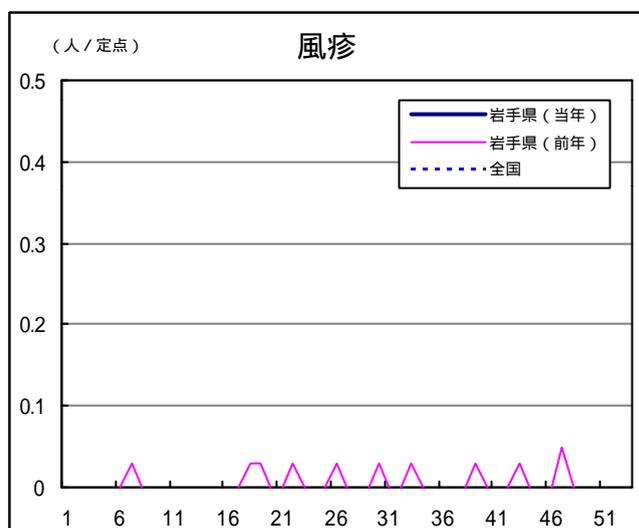
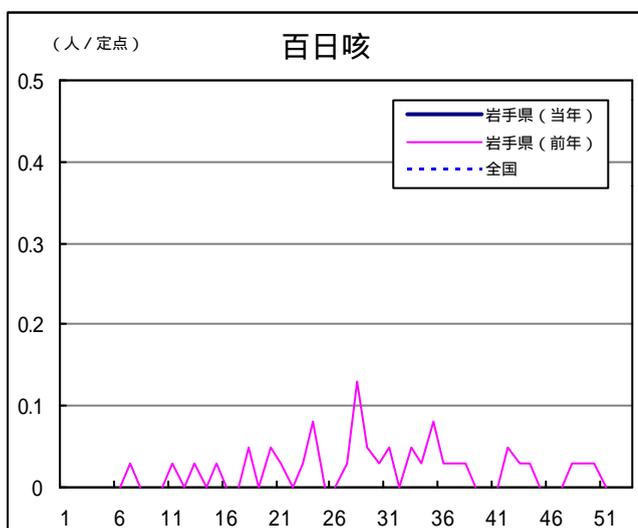
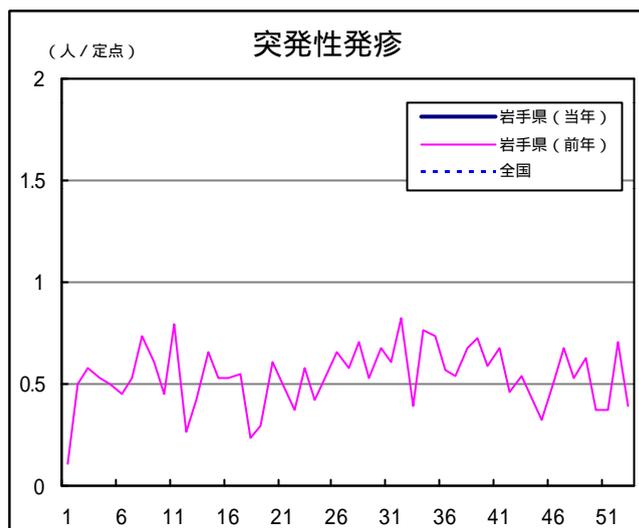
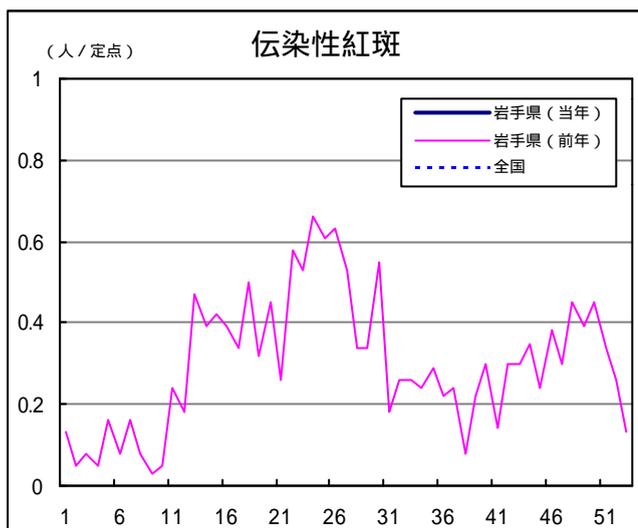
Q & A

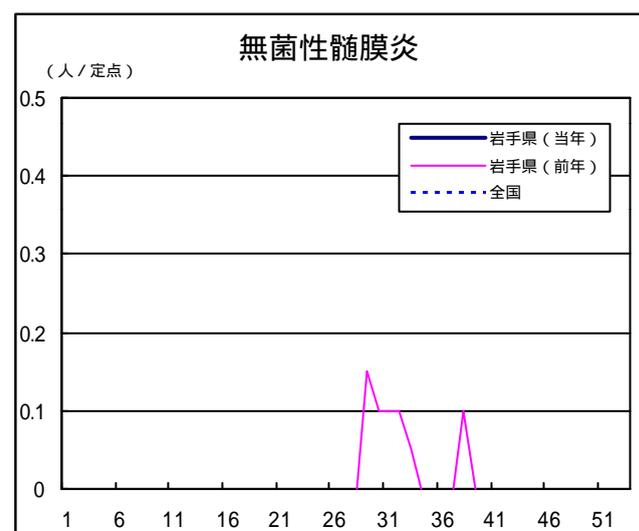
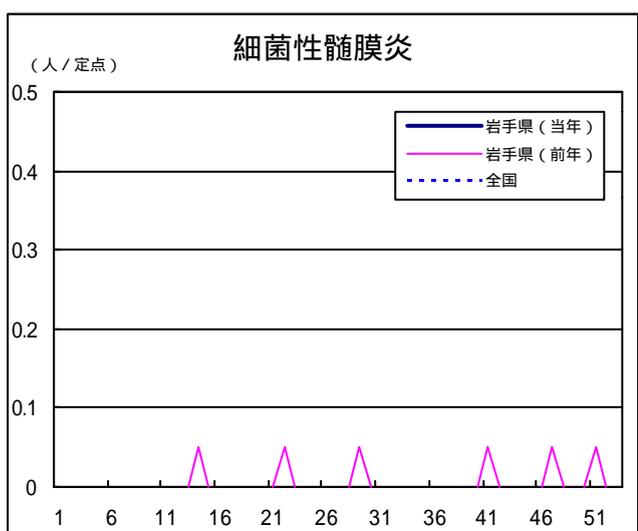
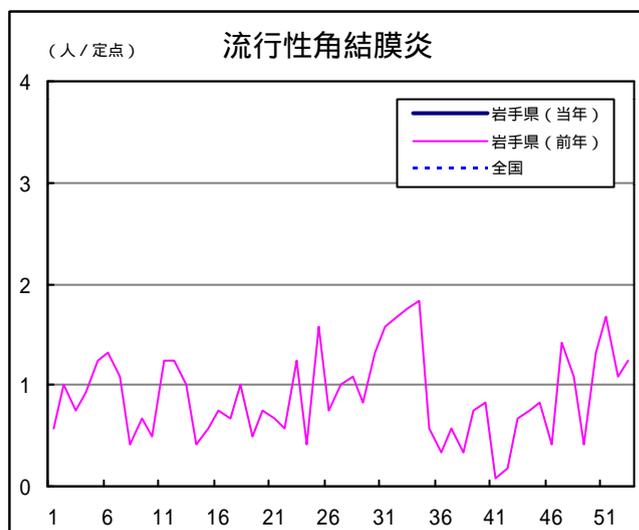
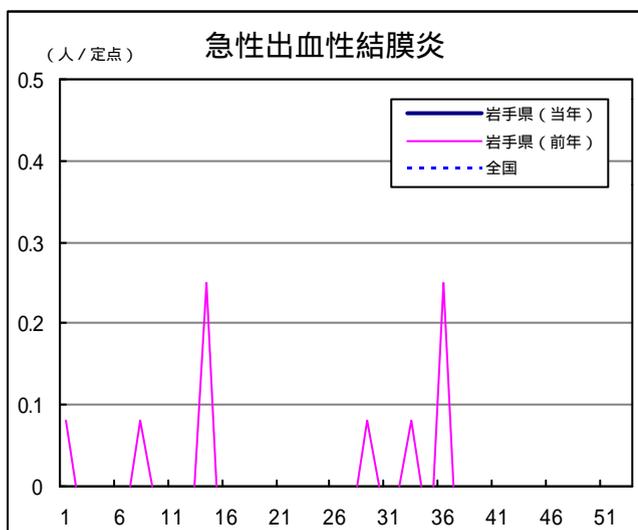
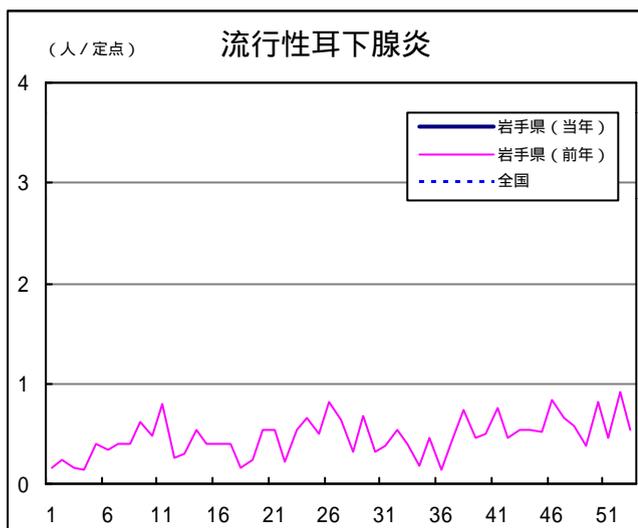
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

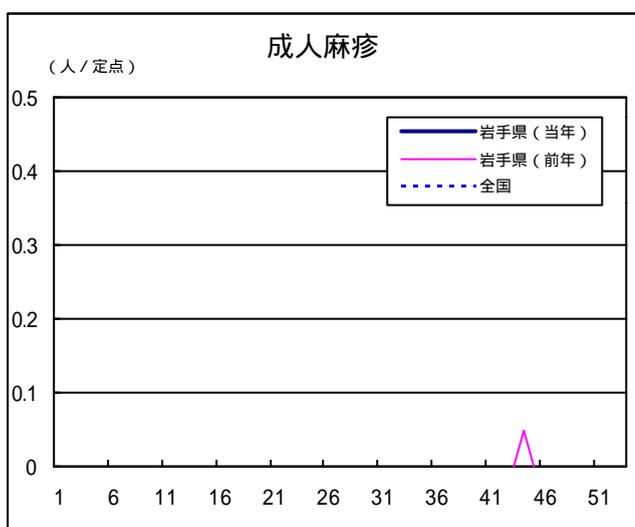
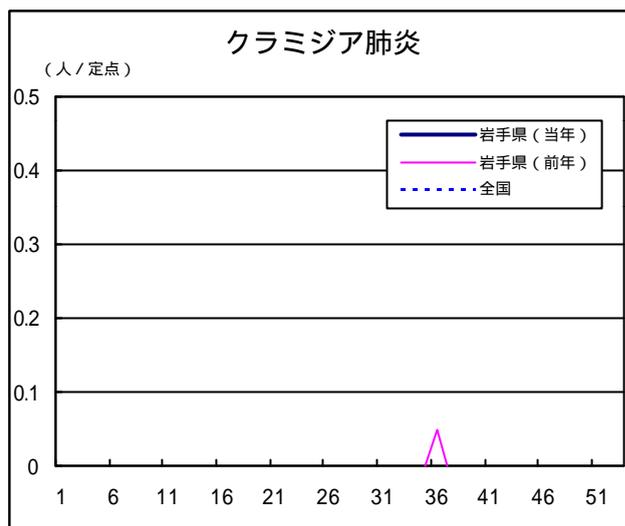
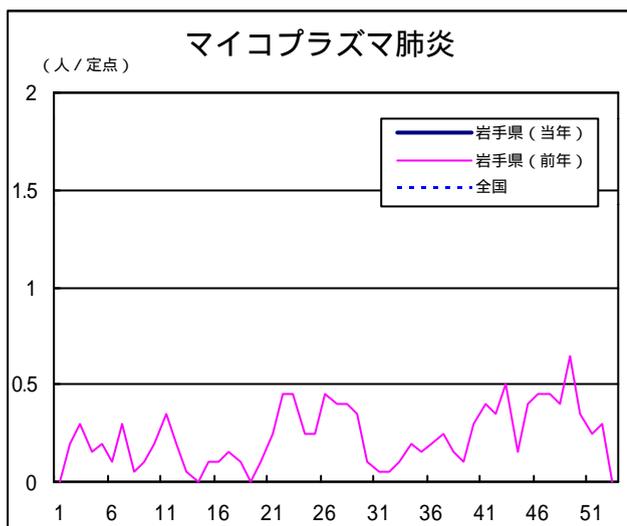
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第1週 平成17年1月14日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>